NIE実践報告

1．タイトル：☆ごみ・水新聞を作ろう

2．学校名

大阪府高槻市立津之江小学校

3．実践者名（代表者名）

森村洋美

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　82人

6．単元（本時の学習課題）名

わたしたちの町からわかること―ごみ・水新聞作り―

7．目標（狙い）

ごみ問題・水問題について学習したことをまとめ、工夫して分かりやすい壁新聞を作る。

8．評価の視点

テーマ沿って学習したことや調べたことを、見出しやリードをつけて分かりやすい壁新聞を作ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「住みよいくらしをささえる」(教科書教材:東京書籍)20時間
「壁新聞を作ろう」7時間　　合計27時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①わたしたしの町のごみ問題・水問題について知る。(20時間)
②新聞づくりの方法を知る。見出し・リードの役割(1時間)
③学習してきたことや調べたことを、新聞記事を参考にしながら壁新聞にまとめる。グループ活動(4時間)
④学年で発表会をする。(2時間)

(留意点)
見出しは読者の注意が向くような内容にするよう声かけする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

読者の興味をひくような見出しやリードを書くよう子ども達は工夫していた。紙面構成についても見やすくなるように考えながら行っていた。

12．成果と課題

子ども達のくらしに直接関係のあるゴミ問題や水問題について、壁新聞作りを通して一定の意識づけができたと思う。見出しやリードのつけ方や紙面構成など、新聞の書き方について新しい経験となった。